

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

助手席用エアバッグモジュールにおいて、インフレーター製造が不適切なため、エンドキャップとイグナイターキャリアが正しく溶接されていないものがある。そのため、エアバッグ展開時のガスの圧力により溶接部に亀裂が生じ、亀裂部よりガスが漏れてエアバッグの展開能力が低下し、最悪の場合、乗員が過度の傷害を負うおそれがある。

改善の内容

全車両、助手席側のエアバッグモジュールを良品に交換する。

識別：車両識別プレートの下側に、橙色で直径5mm程度のマークを塗布する。

また、点検整備記録簿の該当欄に「日付、走行距離、ワークショップスタンプと担当者名、リコール：外-2638 助手席エアバッグの改修」と記入する。